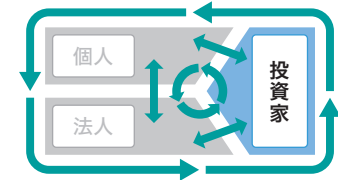




投資家

投資家のお客さまへの取り組み



脱炭素に向けた取り組みや地域経済の活性化、人生100年時代の到来などの社会課題を解決に導く新ビジネスを創造・具現化し、投資家の皆さまのより良い投資に寄与することで、経済的価値と社会的価値を両立した資金・資産・資本の好循環を生み出すことを目指します。

重点施策

- 多様な運用機会・運用商品の開発・提供による投資家の皆さまの課題解決サポート
- 複雑化する運用商品管理に対応する資産管理サービス高度化・データサービス強化
- 拡大する運用ニーズに応えるコンサルティング・リスク管理を含めた総合サービスの提供

中期経営計画振り返り

プライベートアセット型商品の開発力強化に努めるとともに、グループ各社それぞれの強みを生かし、幅広い運用商品を提供してきました。加えて、複雑化する運用商品管理のBPOニーズに応えるべく、資産管理サービスのさらなる品質強化と付加価値向上を追求してきました。また、コンサルティングニーズの拡大を捉え、幅広い投資家層へ年金運用で培ったコンサルティング力を提供するとともに、リスク管理サポートを含む総合的なサービスの提供を強化しています。

ありたい姿

資金好循環を創出する商品戦略や、経営課題に対するトータルソリューションのご提供を通じて、投資家の皆さま本位の金融仲介を果たします。

また、商品の小口化・汎用化や、IT・デジタル技術を活用した資産管理サービス高度化・データサービス強化、ESG投資など社会課題解決につながる運用商品の開発にも注力し、投資家の皆さまの視点に立って運用～ミドル・バック～顧客レポート～チャネル戦略までの一体提供をしています。

環境認識

環境認識・課題

- 新社会課題(脱炭素、豊かな人生100年、地域経済活性化等)に対する多額の資金需要
- ロシア・ウクライナ情勢起点の資源価格高騰に伴うインフレや市場の不確実性

機会・強み

- 投資家起点の“社会課題解決型の金融仲介”による資金好循環の創造
- 市場構造転換に対応する新たな投資機会へのニーズ拡大
- 高品質な各種レポートの提供やアウトソースニーズへの対応

具体的な取り組み

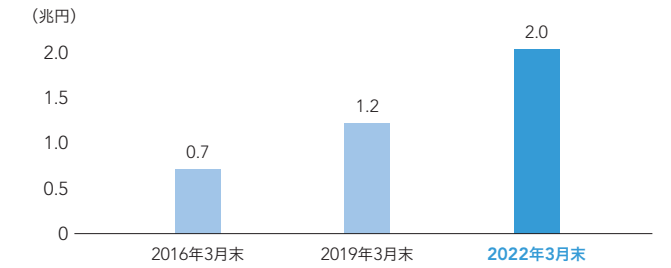
1 運用ビジネス

①三井住友トラスト・アセットマネジメント

アジア最大規模の資産運用残高を有し、これまで培ってきた国内の機関投資家へのプレゼンスに加え、成長分野である国内リテール市場で、より一層の成長を目指します。

お客さまに最適な資産運用ソリューションをご提供するとともに、強固な顧客基盤を生かしたDC市場での商品拡充とサポート体制の強化を図りながら、投資先へのESGエンゲージメント等を通じて社会課題の解決に貢献していきます。

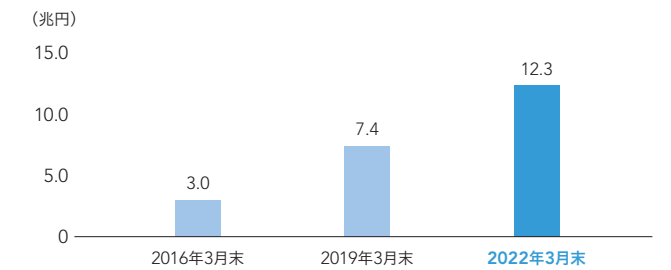
DC投資信託



②日興アセットマネジメント

世界11カ国の拠点(JV含む)のネットワークと、それらを積極的に活用したユニークな商品開発力や販売会社へのサポート等の強みを生かし、お客さまに革新的な商品やサービスをご提供していきます。また、持続的な成長に向けて、海外におけるディストリビューションの強化や、非流動性資産を含む投資領域の拡張を進めます。また、アジア市場を中心としたグローバルなマーケットでETFビジネスをリードしていきます。

国内ETF残高

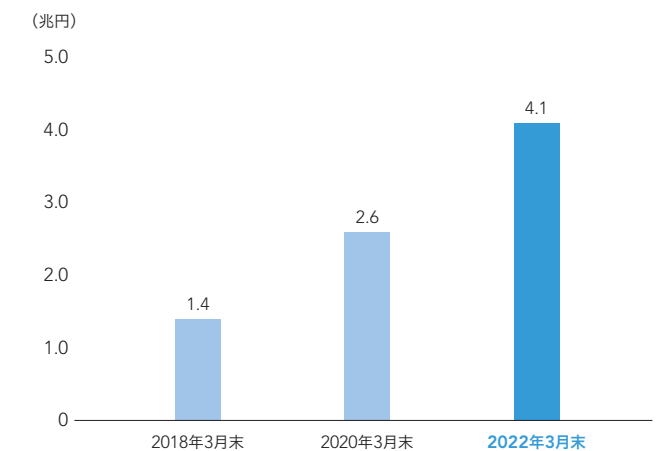


2 脱炭素社会に向けた資金需要への対応

脱炭素社会実現などの社会的ニーズの中で、膨大な資金需要が発生すると想定されています。一方で、日本の低金利環境や株式市場のボラティリティ拡大などの環境を背景として、非上場株式や不動産など実物資産を投資対象としたプライベートアセットへの関心が高まっています。

信託銀行グループとしてのコンサルティング力や豊富な投融資の知見、信託機能を活用した商品開発力に加え、組織再編による資産運用・資産管理のノウハウ・専門性の結集によって、多様な社会課題の解決に資する金融仲介を行うことで、投資家のお客さまに情報提供などの投資サポートや商品ラインアップ拡充を通じた豊富なプライベートアセットへの投資機会を提供すると同時に、資金・資産・資本の好循環創出による社会課題の解決を実現していきます。

プライベートアセット* AUM



※プライベートアセット：プライベートエクイティ(PE)、不動産、インフラ、クレジット等を中心としたアセット

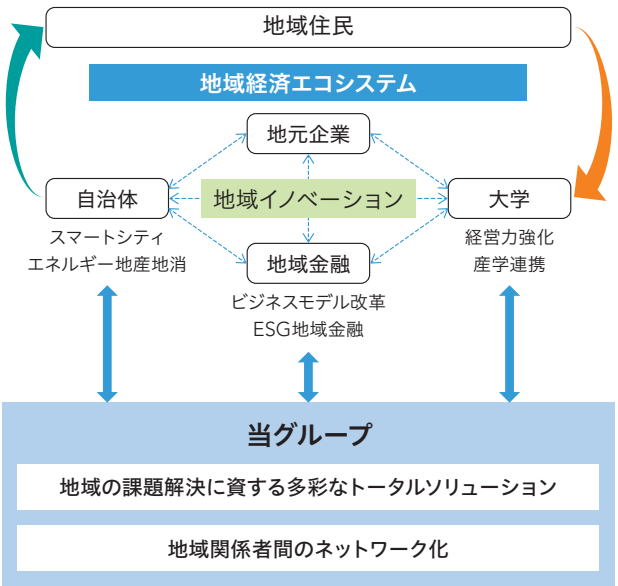
具体的な取り組み

3 地域経済の活性化

少子高齢化やESG/SDGs対応など、それぞれの地域固有の課題があるなかで、地域の特性を生かしたイノベーションによる、地域住民本位の地域経済エコシステムの構築が必要とされています。

当社はこれまで、地元企業・大学・自治体・地域金融などとの連携活動を進めてきました。その中で培った信頼関係を基礎として、地域経済エコシステム実現に向けた協業や、産・学・官・金をつなぐ循環の創出等、地域経済の活性化に貢献していきます。

ESG地域金融の普及による地域金融とのネットワーク化進展や、スマートシティ・スーパーシティ構想への参画、エネルギー地産地消先行エリアでの自治体との協働など、既にさまざまな活動を進めていますが、引き続き地域に係る情報流通・開発機能をより一層強化するとともにソリューション機能の高度化を追求していきます。



4 人生100年時代における資産形成サポート

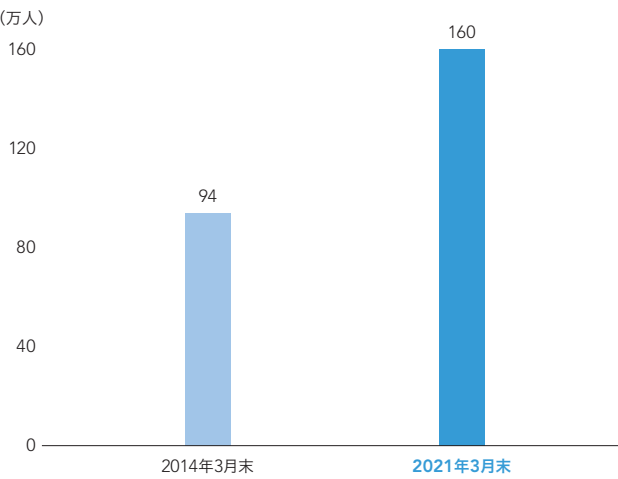
当社は、お客さまのWell-being向上のために、企業年金制度や福利厚生全般サービスを展開しています。

昨今では、ESG重視の潮流や日本のCGC改定などを背景に、企業の「人的資本」経営への関心も高まっており、2022年度は個人型DC(iDeCo)の活用範囲拡大等の法改正も相俟って、国民一人ひとりが人生100年時代における資産形成のあり方を考える時期とも言えます。

当社は、業界トップの事業基盤を有する企業年金(DB・DC)分野での制度コンサルティングを基軸として、持続的な企業価値向上を支える社員(人的資本)に対して、企業内制度を通じた新たなライフプランコンサルティングや幅広い商品・サービスを積極的にご提供していきます。

これにより、福利厚生支援をワンストップで行える信託銀行グループの強みを発揮しつつ、企業・社員双方のWell-beingを支えるパートナーとして、お客さまの豊かな人生の実現に貢献していきます。

DC加入者の推移



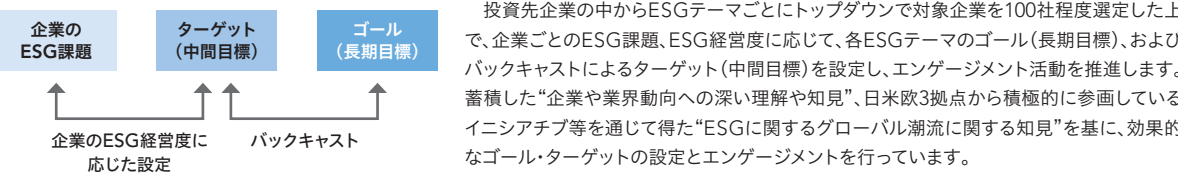
サステナビリティに関する取り組み

社会課題解決型ビジネスの取り組み

〔三井住友トラスト・アセットマネジメント〕トップダウン型エンゲージメントの取り組み

三井住友トラスト・アセットマネジメントは2019年に経営会議においてESG投資ポリシーを制定し、ESGマテリアリティを特定しました。2020年には同マテリアリティに基づき、スチュワードシップ会議での議論、スチュワードシップ活動諮問委員会における諮問・答申を経て12の注力ESGエンゲージメントテーマを設定し、トップダウン型エンゲージメント活動を推進しています。

ESGテーマによるトップダウン型エンゲージメントの対象企業選定、ゴール・ターゲット設定



ステージ管理とモニタリング

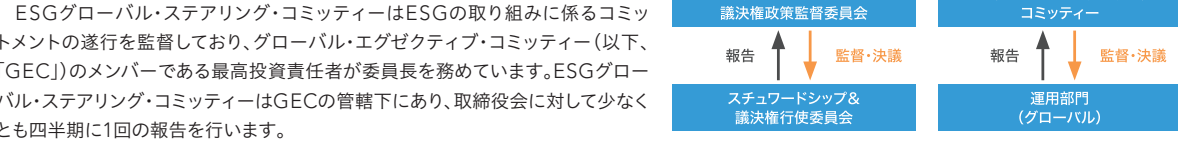
エンゲージメントの進捗状況はESGテーマ別に4つのステージで管理し、その先にある施策の実行、課題解決までをモニタリングします。

ステージ管理	①課題設定	投資先企業のESG重要課題の特定と課題設定 テーマのゴールからバックキャストによるターゲット(中間目標)設定
	②課題提示	企業との面談機会に課題を提示し、課題共有に向け継続的に対話を実施
	③課題共有(企業担当者)	企業担当者と課題共有するとともに、施策実行・課題解決に向け経営層との対話へとステージを進める
	④課題共有(経営層)	経営層と課題共有し、ベスト・プラクティスの紹介を実施、施策実行・課題解決に向けた社内検討を動機づけ
リモニタ	⑤施策実行	企業の方針表明(コーポレートアクション)を確認、その進捗状況をモニタリング
	⑥課題解決	ターゲット達成の確認と企業との共有、課題進捗が不十分な場合、議決権行使への反映を検討

企業のサステナビリティや企業価値の向上

〔日興アセットマネジメント〕ESG投資

日興アセットマネジメントでは、資産運用会社としてフィデューシャリーおよびESGの原則を最も重要な指針に定めています。グループ全体のコミットメントを明確にするため、2016年に「フィデューシャリー・ESG原則に係る行動指針」を策定し、ESGグローバル・ステアリング・コミッティーを設置しました。



ESGグローバル・ステアリング・コミッティーは国内外の運用チームのリーダーによって構成されており、各リーダーはESG課題をそれぞれの投資プロセスに組み入れることを求められています。同コミッティーはまた、こうしたESG課題の組み入れについての実効性を評価し、取り組みを強化することが求められています。さらに、国連が推奨する6つのPRI原則全ての実行にも取り組んでいます。

日本においてはスチュワードシップと議決権行使の双方のガバナンス体制がESGの枠組みを補完しています。これらは、「スチュワードシップ&議決権行使委員会(以下、「行使委員会」)」と「スチュワードシップ&議決権政策監督委員会」で構成されます。

行使委員会は、スチュワードシップ方針の策定や議決権等行使指図ガイドラインの見直しを含む、スチュワードシップ活動を実践するために必要な指針の作成に取り組んでいます。